

結 果 報 告

大会名	平成28年度第68回日本ハンドボール選手権大会				
競技日	12月22日(木)	試合番号	き	回戦	2
種別	男子・ 女子	会場	イソカタ八王子 ・駒沢体育館		
Aチーム			Bチーム		
飛騨高山ブラックブルズ岐阜			大阪体育大学		
得点合計	小計		小計	得点合計	
21	12	前半	10	22	
	9	後半	12		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

【 戦 評 】

記載者氏名

金城 和貞

開始19秒、大阪体育大7番佐々木の得点で試合が始まる。対する飛騨高山ブラックブルズ岐阜は4番宮崎の連続得点で2対1とする。5分過ぎ、大阪体育大は3連続速攻で逆転する。飛騨高山ブラックブルズ岐阜は、10分間得点がなく2対5と劣勢だったが、ディフェンスシステムを変えたことで、大阪体育大は速い攻めが抑え込まれ、得点を挙げられない。この間、32番田中のサイドシュート、5番池之端の速攻などで4連続得点で6対5とする。その後は両チーム点の取り合いになり12対10飛騨高山ブラックブルズ岐阜のリードで前半を終了する。後半に入り飛騨高山ブラックブルズ岐阜は2分半で3点を取り引き離しにかかるが、大阪体育大の速いディフェンスチェックとGK馬場の堅守に阻まれ10分間得点を挙げられない。この間に大阪体育大は着実に得点を重ね、15対15とする。飛騨高山ブラックブルズ岐阜は、3-3気味のディフェンスに変え大阪体育大の攻撃を押さえ、3連続得点で19対16とするが、その後、逆に4連続得点を許し、残り2分で20対20の同点になる。残り1分で大阪体育大学10番近藤のカットインで1点リードするが、飛騨高山ブラックブルズ岐阜4番のシュートで同点とする。延長かと思われたが、終了直前大阪体育大学2番松本のカットインで得点し22対21で勝利した。